

令和 7 年度栗東市高齢者保健福祉推進協議会（第 2 回） 議事要旨

1. 日時	令和 7 年 11 月 13 日（木） 9：30～11：30
2. 場所	栗東市役所 2 階第 1 会議室
3. 出席者	<p><委員> 11 名</p> <p>小林委員、大迫委員、今井委員、松並委員、汲田委員、森岡委員、平田委員、渡部委員、清水委員、沖田委員、上野委員</p>
4. 次第	<p>1 開会</p> <p>2 市民憲章の唱和</p> <p>3 あいさつ</p> <p>4 協議事項</p> <p>（1）第 10 期栗東市高齢者福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画の策定に向けた各種調査について</p> <p>事前協議資料への意見まとめ…資料 1</p> <p>①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査…資料 2</p> <p>②在宅介護実態調査…資料 3</p> <p>③介護サービス事業所調査…資料 4</p> <p>④ケアマネジャーアンケート調査…資料 5</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>

<要旨>

○開会

○市民憲章の唱和

○あいさつ

○開催状況の報告

総委員数 12 名のうち、11 名出席。

栗東市高齢者保健福祉推進協議会設置規則第 6 条第 2 項の規定により、会議の成立を報告。

議事

第 10 期栗東市高齢者福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画の策定に向けた各種調査について

資料 1 について、事務局および（株）ぎょうせいから説明を行った。

	①日常生活圏域ニーズ調査について
委員	フォントは何に変えたのか？国のフォントと同じなのか？
事務局	「BIZ UD ゴシック」に変えた。国のフォントとは違う。ユニバーサルデザインで見やすさを重視して今回使用した。
委員	13 ページ問 7 の（５）選択肢「その他」に自由記載欄がないのはいいのか？罫線について、15 ページ、17 ページに線があるところ、ないところがある。
事務局	その他については、国の調査内容で自由記載欄は設定していないため、そのままとしたい。罫線については修正対応する。
委員	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の 3 つのかかりつけを持つことを行政として推進していたと思うが、その辺りの設問追記はしなくていいか？尋ねた方が啓発にも繋がると思う。
事務局	かかりつけのところを修正対応する。
委員	フォントの大きさが違う箇所がある。
事務局	フォントや大きさなど、最終版では修正して統一したい。
	②在宅介護実態調査について
委員	幸福度の質問はいらないのではないか。回答していて回答者が悲しくなる場合もあるのではないかな。必要なかどうか聞きたい。
事務局	在宅介護実態調査の方では必須設問ではないので削除もありだが、昨今ウェルビーイングの考え方が出てきているものあり、多くの調査で尋ねられるようになってきているという時代の流れもある。また、第 9 期計画策定時も同じ質問をしているので、経年比較等を考えると入れておきたい設問ではある。
委員	前回も同じ質問で実施しているのであれば、承知した。
委員	「ご回答いただいているのはどなたですか？」という設問の選択肢に「ケアマネジャー」は入らないのか？
事務局	現状では「その他」になる。
委員	8 ページ(13)人工膀胱が人口膀胱となっている。また、14 ページの(7)で、「短期入所」「居宅療養管理指導」の専門用語は、みなさんに伝わるものか、説明が必要なのではないか？
事務局	人工膀胱に修正対応する。専門用語の説明については事務局内で検討する。
委員	説明を設問の直後に入れるとわかりにくいから、うしろに説明書きがあればいいのではないかな。
事務局	専門用語の一覧表の掲載を検討する。
	③介護サービス事業所調査について
委員	3 ページ問 4 について、表の網掛けが欄外にでて黒くなっている部分がある。 また、7 ページ問 14-1 で選択肢 12「事業所内の情報共有が円滑になった（話し合い時間の増等）」となっているが、情報共有が円滑になったら、話す機会はより少なくなるのではないかな。

事務局	前者については、修正対応する。 後者については、「（話し合い時間の増等）」を削ればいいということか。一方で、そうすると選択肢 5「情報共有がしやすくなった」との整合が問題になる。検討したい。
委員	ICT のメリットは、わざわざ時間を設けなくてもいい。同じ場所にいなくてもいい、という点にあるので、それを、わざわざ同じ場所にいる話し合いの場が増えたとなると、矛盾するように聞こえる。なので、話し合いが効率的になった、とかなら理解しやすい。
事務局	修正対応を検討する。
委員	問 2 について、事業所の立場から回答するときはどう回答したらいいのか迷った点が、同じ事業所で、複数のサービスを提供している場合に、あるサービスでは減って、別のサービスでは増加したという場合は、どのように回答すればいいか。
事務局	それぞれの事業所宛てにメール等で、調査票をお送りすることになるので、デイサービスならデーサービスの事業所で回答することになる。
委員	I C T については、その内容が多岐にわたるので、I C T の種類を確認する問があってもいいのではないか。
委員	事業形態により、使う種類は異なるのではないか。情報を整理することに関係する場合もあれば、身体的に介助で使うものに対する機械化とか、そういう効率化で用いられるものもある。見守りや情報の連携、などもある。多岐にわたるので、一括りにするとわからないというのは理解できる。何を導入しているかという設問があった上で、効果について回答という方が、より正確な回答となっていくのではないか。
会長	やはり種類をどこかに設問として載せておく方がいいのではないか。
委員	データ連携システムは入ってきている。そこはどの事業所も関わってくるのでそれが活用されているかどうかを尋ねるのはいいと思う。
事務局	調査票の校了までの時間が短いため、すべての意見を反映することは難しいと思われるが、頂いた意見をどのように反映できるか検討する。
④ケアマネジャーアンケート調査について	
委員	7 ページ問 21 の 2 行目に「嚥下咀嚼」とあるが、「咀嚼嚥下」が正しいのでは。
事務局	確認し、必要に応じて修正対応したい。
委員	3 ページ問 9 の選択肢に「困難事例の対応」があってもいいのではないか。時間を取られるのは家族対応だったり、困難事例の対応だったりするので、そういうのがあるとういと思う。
事務局	選択肢 5 にある「ケアマネジャー業務以外の業務量が多い」に該当すると考えられるが、そうではない場合、具体的にどんな選択肢があればよいとお考えか。
委員	「困難事例の対応」でいいと思う。 また、8 ページ問 23 で選択肢に「BCP の研修」は入れたほうがいいと思う。
事務局	この場で、これでいいか、判断できない部分もあるので、事務局内で検討したい。
委員	8 ページ問 23 について、現在ケアマネジャーの資格更新の研修のあり方が議論されている。ケアマネジャーとしては、どの研修が必要かという前に、研修の数が多すぎるという問題もある。研修ありきの設問には違和感がある。
事務局	どのような研修が必要かという設問の前に、そもそも現在の研修のあり方を問う設問が必要という意

	味か。
委員	その通りで、そのような質問があればいいと思う。自由回答形式でもよい。
事務局	全体ともバランスもあるので、どのように対応するか検討する。
委員	アンケートなどで、問 2 にあるような、担当の利用人数を聞かれることが多い。アンケートに回答すること自体にも時間がかかる。
事務局	今後のサービス提供の予測などにこのデータが必要と考えて、設定している設問ではある。逆に、他のよりよい方法があれば教えていただきたい。
委員	行政側で数字を拾ってもらうことはできないのか。同じような調査で、何度も時間をとられることに不満がある。
事務局	市外の人数は拾えない。さらに在宅生活の難しい利用者数などは、拾うことはできない。できれば、この形で進めさせてほしい。
会長	今回、この形でご協力いただくということで進めていきたいと思う。

○その他

○閉会